

□要請番号 (JL55120A05)**募集終了**

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ザンビア	C103 野菜栽培	20~45 歳のみ	グループ型	交替 3代目	2年	・2020/2・2020/3・ 2021/1

【配属機関概要】**1) 受入省庁名 (日本語)**

農業省

2) 配属機関名 (日本語)

ムバラ郡農業事務所

3) 任地 (北部州ムバラ) JICA事務所の所在地 (ルサカ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約14.0時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

ムバラ郡農業事務所は郡内の農業生産性の向上や小規模農家の収入向上のための支援を行っている。郡内は18地域に区分され、それぞれの地域の農業普及員は農家を巡回訪問し、主に野菜栽培・果樹栽培を指導している。また、同郡はJICAの小規模灌漑プロジェクト(E-COBST)の対象地域であるため、同郡内の農業普及員は小規模灌漑を利用した農業に取り組み始めている。前任者は農家を巡回し、稻作、野菜栽培、キノコ栽培の普及に努めている。

【要請概要】**1) 要請理由・背景**

郡内には比較的多くの水源がありE-COBSTの対象地域となっていることから、今後の農業生産を支える重要な郡となる可能性がある。しかし、栽培されている主要野菜であるトマト・キャベツ・玉ねぎ等の収量は多くない。現在農業事務所に配属されているJV(野菜栽培)は、これら野菜の収量を増やすべく、有機肥料・有機農薬作り等の必要な技術を農家を巡回しながら直接指導している。今後配属先はJVの活動を継続・定着させること、また、小規模灌漑を有効活用した野菜栽培に取組むことを目指しており今回の要請に至った。民間からの技術指導を呼び込む観点で、ETG(民間肥料企業)やCOMACO(農業系NGO)との連携も望まれている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 1.担当する対象地域(3~4地域程度)の農家を巡回訪問し、野菜栽培技術に関してアドバイスをする。必要に応じて、普及員に対しても助言をする。
- 2.稻作(ネリカ米)導入のサポートをする。
- 3.郡内の小規模灌漑の現状を、灌漑プロジェクトの研修を受けた普及員と共に把握し、活用方法を考える。
- 4.小規模農家の収入向上につながる活動を提案し、ワークショップを開催する。
- 5.可能であれば果樹栽培技術に関してアドバイスをする。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

農業事務所内の執務スペース(机、椅子など)

4) 配属先同僚及び活動対象者

主任農業官 男性1名 大学院卒40代
各部門職員 男女5名 大学院卒1名 大卒4名 30代-40代
現地普及員 男女19名 短大卒19名 30代
活動対象地域の農民

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許] : ()

[学歴] : (専門学校卒) 農学系 備考 : 農家に直接指導するため

[性別] : () 備考 :

[経験] : () 備考 :

任地での乗物利用の必要性

単車小型自動二輪免許が必要

【地域概況】

[気候] : (サバナ気候) 気温 : (5~35°C位)

[電気] : (安定)

[通信] : (インターネット可 電話可)

[水道] : (安定)

【特記事項】

生活使用言語はベンバ語・マンブ工語。
果樹栽培の経験があるとなお良い。